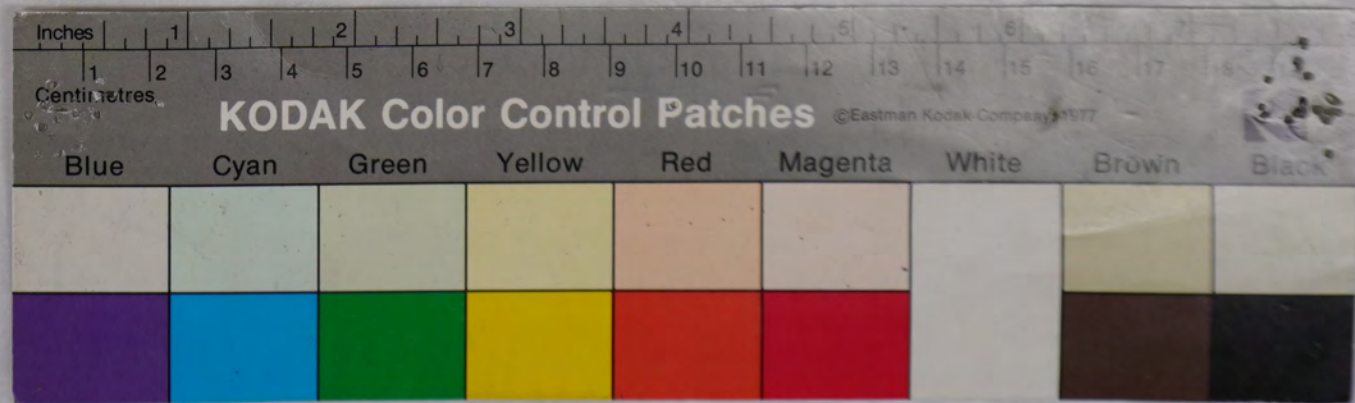


宝曆六年
先帝山并法尼信長
本野村

木野愛宕神社所蔵史料

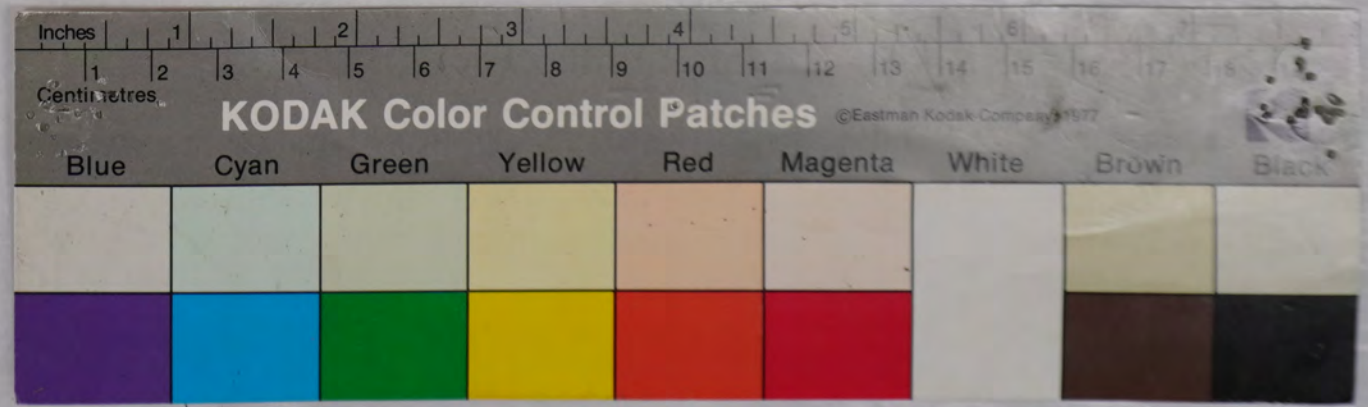
箱 4 - 2 8

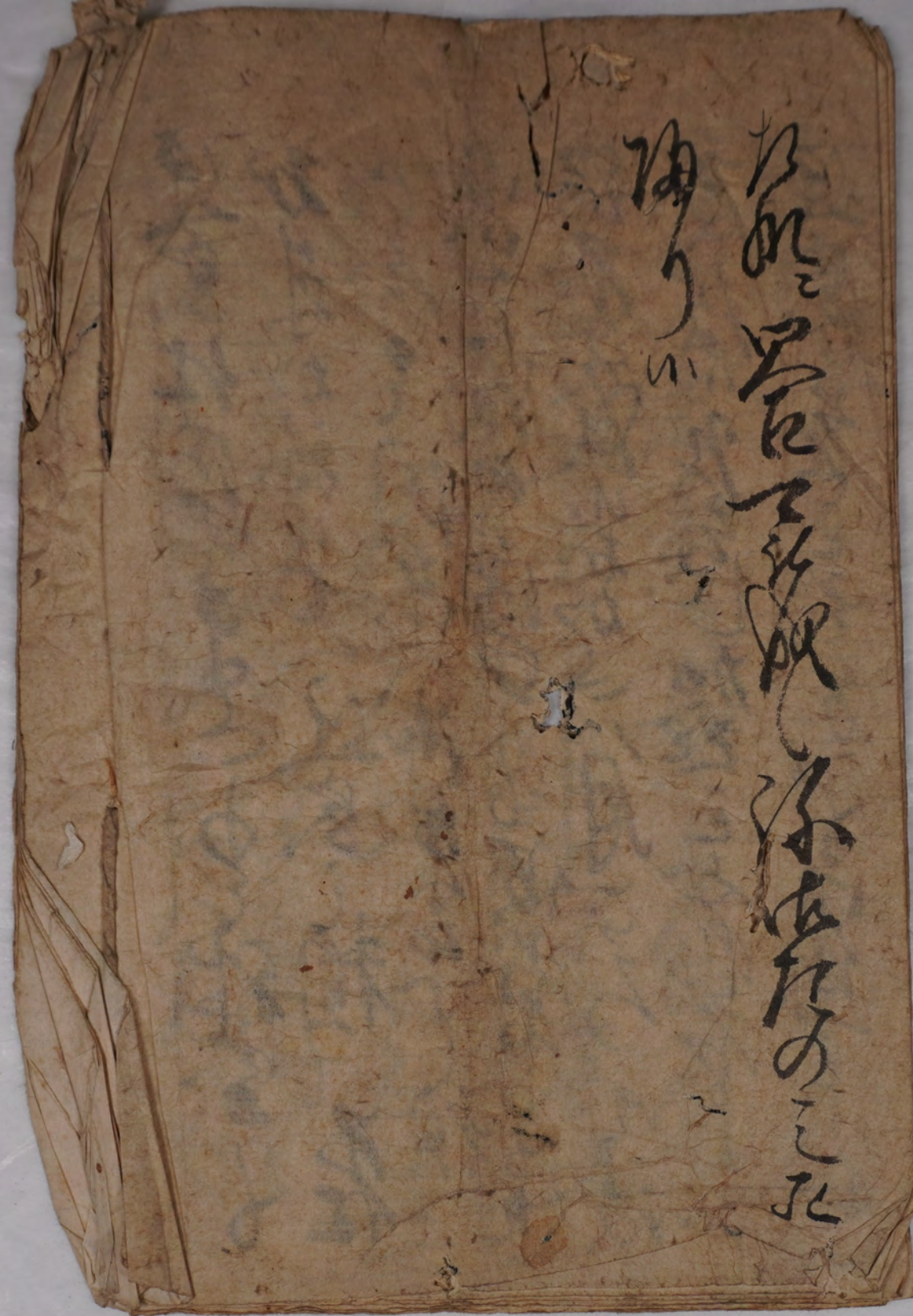


是し趣己在厚深し竟念は是れ以て
 何運者もあらずし後にはたかひんは念は
 是の念心後者南村に於ては酒
 多神持也此の山趣に山湯を造る事
 系りは及し是法者因縁より念
 あんぬの如くおまぬぬ手致言七
 是は是の事ある村者より是る事村者
 礼を授けは穢は下は穢はれは依之
 村者より銀子百両をよひは村に礼
 付はる事
 是の事ありて
 是の事ありて

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 2 8





御用紙
本居氏
伝承のため

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 2 8

